

導入事例

光あふれる大空間には、大きく鮮やかな画像を。
98V型の法人向けブラビアが変えた会議や式典



掲載内容は2025年6月時点のものです

株式会社東京朝日ビルド 様

総合建設業の大手・竹中工務店の完全子会社で、躯体工事の企画・提案から計画、施工までを一貫して担える専門工事業者としての実績は50年以上。「誇りあるものづくり」を使命とし確かな業務を遂行してきたことが評価され、竹中グループだけでなく、グループ以外からの発注も増えているそうです。人手不足への対策として、地方の高校からの採用にも力を入れており、若手社員寮の設置や職場環境の改善、SNSでの情報発信などに取り組まれています。

■導入目的

1. 大会議室の後方席から見にくいため、画面をよりサイズアップしたい
2. 図面や写真の細部を確認できる大画面ディスプレイが欲しい
3. 採光性の高い大会議室でも、映り込みのない画像を見せたい

■法人向けブラビアで実現

1. 98V型へサイズアップし、後方席からも画像の内容が見えるように
2. 図面や写真の細部もよくわかり、紙の資料配付が不要に
3. 記念式典でも、プロが撮影した美しい実績画像を上映でき好評価

広い会議室や細かな画像閲覧において65V型ではサイズ不足

当社で最も広く100人以上を収容できるこの本社・大会議室では、月に一度100人ほどの全社員が集まる社員集会を開いています。会社が全従業員へ情報を伝達するときや、従業員と意見を交換する際に大型ディスプレイを利用しています。しかし、以前に使っていた65V型のディスプレイではサイズが不十分で、会議室の後方席からは表示内容がわかりづらく、会議室の中ほどに後方へ向けてディスプレイをもう1台設置し補完してきました。

また、この大会議室はスライディングウォールで仕切ることができるため、少人数の個別会議であれば、中・小サイズの会議室に間取りを変更して使っています。そのため、ディスプレイは以前からスタンド設置型にし、部屋の仕切り方や席のレイアウトに合わせて自由に移動できるようにしてきました。このような実務に関連する個別会議では図面や写真を映すことが多く、その際ディスプレイには精細で鮮明な表示能力が求められます。躯体関係などの精密な図面は誤りなく読み取る必要がありますし、写真の細部を確認して現場や施工部分の安全性と品質を議論しなければなりません。以前のディスプレイでは図面や写真の細部を確認しづらかったため、画面表示とは別に紙にプリントして一人ひとりに配り、出席者は画面とプリントを見比べながら何とか内容を理解していました。



管理部長 杉本氏

外光で明るい造りの会議室内でも、映り込みなどがない鮮明な画像が見たい

より大画面のディスプレイを導入しようという話になり、当社で長くお付き合いのあるベンダー様にご相談したところ、3社の製品をご紹介いただきました。選定で最も重視したのは「視認性」です。実は、2019年に竣工したこの本社社屋はグッドデザイン賞や日本空間デザイン賞を受賞しています、会議が行われていないときは社員食堂として利用されるこの大会議室も、こだわりの設計がされています。南側の壁面をガラス張りにすることで屋外を見渡せる開放感があり、採光性の高い造りになっています。そのため以前はディスプレイの画面に、室内照明だけでなく外光も写り込むことが気になっていました。

写真左手の南側壁面はガラス張り。天井の照明も含め、画面を消した状態でも映り込みます低反射であることがわかる

そこで、広く明るい室内でも皆にストレスなく見てもらえるよう、画面が大きいことだけでなく、鮮明な画像を映し出せることも重視しています。このため、導入前に実物を見て画面のサイズと視認性を確認させていただき、法人向けブラビアなら高精細で鮮明な画像が、映り込みなどに邪魔されず見られることがわかりました。契約にあたっては、より安心できる5年の長期保証に入っています。

会議で紙のプリントが不要に。美しい画面は式典でも好評

導入から1年以上経ちましたがトラブルなど一切なく、期待したとおりの高い視認性が得られています。まずは、スライディングウォールで大会議室を仕切った中・小の会議室における使用では、図面や写真を大きく映せるため、細部もよく理解できるようになりました。特に、3Dモデルの図面を見る際には98V型サイズの有用性を感じています。いちいち拡大表示しなくも大きく見えるので、画像を別途印刷・配付する必要がなくなり、かなりのペーパーレスにつながっています。

また小さい会議室における使用だと、画面に近い最前列からは見にくいのではないかという心配も無用でした。視野角の広い法人向けブラビアなら、画面の脇から見上げるような角度からでも鮮明に見えています。そして、会議室のレイアウト変更にあわせ、ディスプレイを移動させるのもスムーズです。安定感あるしっかりとした造りのスタンドであるため一見とても重そうなのですが、2人いれば無理なく動かせています。

全体会では、大会議室の後方席からも画面の内容がよく見えるようになりました。精細な解像度と鮮明な発色による美しさにも心しています。近くから見ても、遠くから見ても、本当にきれいですね。少し前に創立記念の式典を大会議室で催し、そこでプロが撮った当社の施工実績を上映しました。その際もロールカーテンを全開にし、室内を明るくして開催したのですが、外光の映り込みなどは全く気にならず、写真をとても美しく見せられ、式典に華を添えることができました。他の従業員らも画面の大きさに、そして美しさに驚いていました。



斜めからでも鮮明かつ、外光の映り込みもない

サイネージ利用にも興味。他の活用方法や新たな機器の紹介にも期待

当初の目的を達成できましたが、今後さらに活用の機会を広げたいと思っています。実は導入を検討していた当初、デジタルサイネージとしての利用も検討していました。他社のオフィスにお邪魔する機会がありますが、いろいろな使い方をしているのを私も目の当たりにしてきましたが、当社で入れた場合にどこまで使いこなせるのかと。もしサイネージに利用するならば、映す内容は社内向けの周知事項やスケジュール表になると想われましたが、結局、用途を定めきれず見送りました。ただ、引き続き検討はしていると思います。

そして現在、会議がないときは使用されておらず、少しあつたない気がしています。このため、昼休憩の時間などに積極的な活用がしたい。例えば、普段はサイネージとして使正在ながら、会議などの際にはパソコンをHDMI接続するだけすぐにディスプレイ利用へ切り替える無料アプリケーションもあるとお聞きしました。そういう便利な使い方などを含め、業務改善につながるご提案や活用事例を、今後もご紹介いただければと期待しております。若い人材の獲得という観点から職場環境の向上に会社として継続的に取り組んでいるため、設備投資も積極的にしていく考えです。ディスプレイの入れ替えなどの際は、また相談させてください。



法人向けブラビアについて 詳しくは、当社Web (sony.jp/bravia-biz/) へ

ご購入に関する相談は
法人のお客様向け購入相談デスク

 0120-30-1260

● 携帯電話・PHS/一部のIP電話などでご利用になれない場合がございます。

● 受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日 休み)

ソニーマーケティング株式会社

商品情報や仕様のお問い合わせは
ブラビア法人様向けご相談窓口

 0120-67-6699

● 携帯電話・PHS/一部のIP電話などでご利用になれない場合 050-3754-9774

● 受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日 休み)

お問い合わせ

2025年6月現在